# S-Stage ボアアップキット 80cc (カム付) 取扱説明書

製品番号 01-05-509

	Ape	(AC16-1000001 ~ 1599999)
適応車種及び	CB50J	(CB50J-1000011 ~ 1127783)
フレーム番号	CB50SA	(AC02-1000007 ~ 1016876)
	CB50SB	(ACO2-1100006 ~ 1107894)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

# 使用燃料についてのご注意|

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用 された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエ ルタンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

# スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず、CR8HSA(NGK)又は、U24FSR-U(DENSO)に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して 下さい。

#### スプロケットについての注意点

当製品を取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を 及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。適正な減速比に変更して下さい。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行 される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎当製品の取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行う事を
- ◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュ アルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店 へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎ Ape は、当製品単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
- ◎ Ape のさらなるパワーアップには、弊社製マフラーをお勧めします。
- ◎ CB50 に当製品を取り付け、エキゾーストマフラーが変更されている場合はセッティングの見直しが必要な場合があります。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
- ◎当製品を取り付けるには、別途、L. クランクケースカバーガスケット(ホンダ品番:11394-KN4-750)が必要です。別途お買い求め下さい。

# և 注意 | この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

- ■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
- ■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。 (部品の脱落の原因となります。)
- ■ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

# ▲ 警告 | この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。 -酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ■作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。 (不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)



〒 584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16 TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp お問い合わせ専用ダイヤル: 0721-25-8857



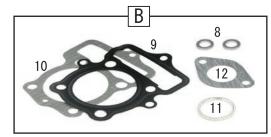
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

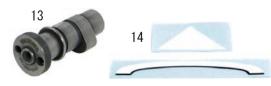
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂 きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象とな りません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。
- ◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

#### 製品内容









記号部品名		品番
Α	ピストンキット	01-02-515
В	ガスケットセット	01-13-021

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。

予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番 にてご注文下さいます様お願い致します。

番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 53.5mm	1	00-01-0047 (ピストンピン付き)
2	ピストンリングセット 53.5mm	1	01-15-016
3	ピストンピン 13x38.5	1	00-01-0198 (サークリップ付き)
4	ピストンピンサークリップ 13mm	2	00-01-0003 (6 ヶ入り)
5	シリンダー	1	01-01-0117
0			(プラグボルト/シーリングワッシャ付き)
6	プラグボルト	1	00-07-0072 (シーリングワッシャ付き)
7	プラグボルト M5 穴付	1	00-07-0090 (シーリングワッシャ付き)
8	シーリングワッシャ 10x14x1.5	2	00-07-0010(10 ヶ入り)
9	シリンダーヘッドガスケット	1	12251-GEY-T00
10	シリンダーガスケット	1	00-01-0075 (2 ヶ入り)
11	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0027 (2 ヶ入り)
12	インレットパイプガスケット	1	00-03-0004 (4 ケ入り)
13	カムシャフト	1	01-08-040
14	原付2種マークセット	1	

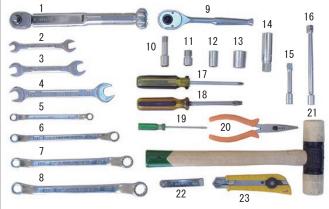
# ネジについて

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。 ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
- ◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から3~4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいい
- るか。 ◇ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。 ◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。 トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

#### 工具について

- ◇正しい工具を正しく使用しない場合はボルトやナットや各パーツのかかり部分やネジ部分が破損する場合があります。 ◇取り付けの経験が無いほど正しい工具が必要です。また、それらを正しく使用する経験も同様に必要です。準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼 されることをお勧め致します。
  ◇当製品の取り付けに使用する工具等を下記に掲載しますので参考にして下さい。
  なお、車種やその年代により工具の内容が異なる場合がありますのでご了承下さい。

- ※工具は同じ名前のものでも数々のメーカーや種類があったり、同じ工具でも名前が違ったります。また、好みもありますので参考程度でお考え下さい。



_				
	1	トルクレンチ	15	エクステンションバー小
	2	スパナレンチ 10-12mm	16	エクステンションバー中
	3	スパナレンチ 12-14mm (CB50)	17	ドライバープラス小
	4	スパナレンチ 14-17mm	18	ドライバーマイナス小
	5	メガネレンチ 8-9mm	19	細軸ドライバーマイナス
	6	メガネレンチ 10-12mm	20	ラジオペンチ
	7	メガネレンチ 12-14mm (CB50)	21	プラスティックハンマー
	8	メガネレンチ 14-17mm	22	シックネスゲージ
Γ	9	ラチェットレンチ	23	カッターナイフまたはスクレーパー
	10	ディープソケット 8mm		針金等
Γ	11	ソケット 10mm		ウエス
Γ	12	ソケット 12mm		エンジンオイル
	13	ソケット 17mm		レーシングスタンド
Γ	14	プラグソケット 16mm		ジャッキ等
_				

◇フューエルコックを OFF にします。



◇サイドスタンドを取り外す必要が ありますので、レーシングスタンド 等を用いて車両を確実に支えて下さ

※ CB50 はノーマルマフラーを取り 外さなければ、レーシングスタンド を使用出来ません。

で採用の本ません。 まず、サイドスタンドで車両を支え、 "エキゾーストマフラーの取り外し" を参考にして取り外して下さい。 ※作業は必ず冷間時(エンジンおよび

マフラーが冷えている時)に行って 下さい。 ※各パーツはホコリやオイルなどの

汚れを取り除いてきれいにしながら 取り外していくようにして下さい。 ※取り外したボルトやナットは無くさ

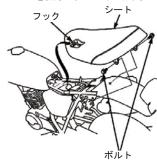
エルチューブの接続を外します。



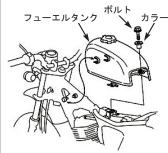


# ●エンジンの取り外し シートとタンクの取り外し Ape の場合

◇2本のボルトを取り外します シートを後方に引いて外します。

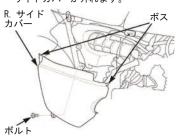


◇ボルトを外し、フューエルタンクを 後方に引いて取り外します。

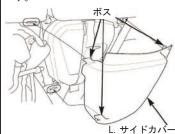


# サイドカバーの取り外し

◇右サイドカバーのボルトを取り外し ます。 ボス 2 ヶ所をフレームから外すと、 サイドカバーが外れます。



◇左サイドカバーのボス3ヶ所をフレー ムから外すと、サイドカバーが外れま



◇ CB50 は、左右のボス各 3 ヶ所を外し、 取り外します。



# キャブレターの取り外し

◇キャブレターのトップキャップを 外し、スロットルバルブをキャブレ ターから抜き取ります。



◇コネクティングチューブバンドのスク リューを緩めます。



◇ボルト2本を取り外し、シリンダー ヘッドからマニホールドとキャブレ ターを取り外します。



# エキゾーストマフラーの取り外し

◇シリンダーヘッド側のナット2個を取 り外します。



#### Ane

◇マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外し ます。



#### **CB50**

◇ボルトを取り外し、キックペダルを 取り外します。



ーー・ ◇ロックナットとワッシャを取り外し、 エキゾーストマフラーを取り外します



※エキゾーストパイプを、ステップと エンジンの間から抜き取ります。



# スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張り、取り外し ます。必ずキャップ部分を引っ張って 外して下さい。



◇スパ--クプラグを取り外します。



# 接続を外す

◇配線の接続を外します。



◇ワイヤーバンドを外します。



◇ブリーザーホースの接続を外します。 (Ape の場合)



◇クラッチケーブルガイドのナットを 





◇ケーブルガイドからクラッチケーブ . ルを外します。



◇タコメーターケーブルのスクリュー を外し、ケーブルを取り外します。



# ドライブスプロケットの取り外し

◇ L. クランクケースカバーのボルト5 本を外し、L. クランクケースカバー を取り外します。



◇ガスケットがきれいに剥れず残った 場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。◇スペーサーを取り外しておきます。



◇ドライブスプロケットの2本のボルトを外し、フィキシングプレートとドライブスプロケットを取り外します



# L. ステップの取り外し

# Ape の場合

◇サイドスタンドスイッチコードをフ レームから取り外します。



◇ボルト2本を取り外し、L.ステップを取り外します。



# エンジンの取り外し

◇エンジン下部にジャッキや適当な台等 を置き、エンジンを支えます。



◆フロントエンジンハンガーのナット 4個を取り外し、ボルト4本を抜き 取ってフロントエンジンハンガーを 取り外します。



◇リアエンジンマウントの上側のナット を取り外します。



◇下側のナットを取り外します。



◇まず、上側のボルトを抜き取り、カラー (Ape の場合)とクラッチケーブルガイドを取り外します。





◆下側のボルトを抜き取り、エンジンを フレームの左側から取り外します。フ レーム等に傷をつけないように注意し て下さい。



# ●シリンダーヘッド、シリンダー、 ピストンの取り外し

# シリンダーヘッドの取り外し

◇シリンダーヘッドカバーボルト2本を 外し、シリンダーヘッドカバーとガス ケットを取り外します。





◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本を緩めておきます。



◇ロックボルトとセットプレートを取り 外し、アジャスターを取り外します。





◇カムスプロケットの6角ボルト2本を 取り外します。



◇カムスプロケットをカムシャフトから 外し、カムチェーンから外します。



◇カムチェーンをクランクケース内に 落とさないように針金等で吊ってお きます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを 取り外します。



◇カムシャフトホルダーナット4個を 対角に数回に分けて緩めてワッシャ 4個、カムシャフトホルダー、カム シャフト、ノックピンを取り外します。













◇シリンダーヘッドを取り外します。



◇ノックピン2個は、再使用するので 取り外しておきます。



◇シリンダーヘッドのマニホールド取 り付け面のガスケットカスをスク レーパーやカッターナイフ等できれ いに取り除きます。



シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを取り外し、 プリングを抜き取ります。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)



◇ノックピン2個は、 取り外しておきます。 再使用するので



◇ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。





◇スプリングを外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外しま





◇クランクケースのシリンダーホー カムチェ -ンホールにゴミや部品が入 らないようにウエスを詰め込みます。



# ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外します。 ※ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。



# ◇サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押して外しま



◇ピストンが外れます。



# 取り付け面をきれいにする

◇ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないよう に注意して下さい。

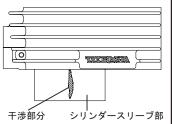


◇ウエスできれいに拭き取ります。



# ●クランクケースの修正

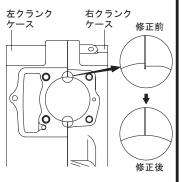
※シリンダーをクランクケースに取り 付ける際、左右クランクケースリー レ等により、シリンダースリーブホール とクランクケーススリーブホールが が干渉する場合があります。干渉し た状態で使用するとスリーブが変形 し、エンジントラブルの原因となり ますので必ず点検、修正して下さい。



ス内に削り粉が入らな いようにしっかりとウエスを詰めま

◇左右クランクケースのズレの出っ 張っている部分を削り、引っ込んで

版りているのかを削り、引う込んでいる部分と同じ高さにします。 ◇削り終わったら削り粉がクランク ケース内に入らないように慎重にウ エスを取り除きます。



◇きれいなウエスをスリーブホールに

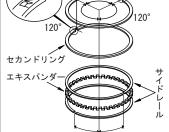
詰めておきます。 ◇キットを取り付けた後にエンジンを アイドリングで数分かけ、すぐにエ ンジンオイルを新品に交換して下さ

# ●Sステージキットの取り付け ピストンの取り付け

- ◇ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けま
- ※ピストンピンサークリップの合い口 は切り欠き部を避けて取り付けて下 さい。
- ※ドライバーで、ピストンにキズを付 けないように押し込むと比較的簡単
- に取り付けることが出来ます。 ※押し込み中にピストンピンサーク リップが外れて飛んでしまう恐れが あるので、慎重に取り付けて下さい。









◇オイルリングエキスパンダーを入れ



◇下オイルリングサイドレールを入れます。



◇上オイルリングサイドレールを入れ



"RN"の文字を上にして、セカンド リングを入れます。



◇ "R"の文字を上にして、トップリン グを入れます。



◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗 布します。



◇コンロッドのピストンピン穴にエンジ ンオイルを塗布します。



◇ピストンピンにエンジンオイルを塗布 ピストンの上面の矢印が、前(排 気側) を向くようにピストンを取り付 けます。



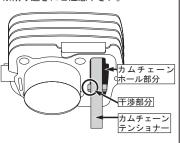


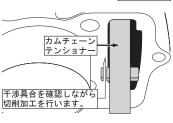
- ◇付属のピストンピンサークリップを取
- り付けます。※ピストンピンサークリップの合い口は 切り欠き部を避けて取り付けて下さ
- 。 ドライバーで、ピストンにキズを付け ないように押し込むと比較的簡単に取 ※ドライバー
- り付けることが出来ます。 ※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるの で、慎重に取り付けて下さい。



# シリンダーの取り付け

- ◇カムチェーンテンショナーの切削加工
- ル部分が干渉します。
- ◇干渉具合を確認しながら徐々に切削加
- エを行います。◇カムチェーンテンショナーの突起部分が軽く振れながら穴に差込めるぐらい が目安になります。
- ※削り過ぎにご注意下さい。





◇カムチェーンテンショナーをキットの シリンダーに差し込み、スプリングの フックをシリンダーに引っ掛けます。





カムチェーンテンショナーのロッド先 端を取り付け面と同じぐらいの位置に します。アジャストボルトで固定し、 ロックナットを締め付けます。



◇詰めていたウエスを取り外します。



◇クランクケースとシリンダーの合せ 面をシンナー等で脱脂します。





◇ノックピン?個とシリンダーガス ケットをクランクケースに取り付け



◇シリンダーの内側にエンジンオイル を塗布し、指で均等に塗り広げます



◇ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。





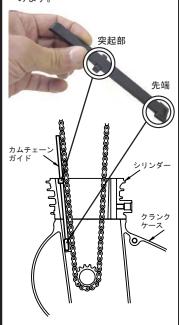
◇シリンダーにピストンリングの合い 口がずれないように指で少しずつは めていきます。



◇ピストンがシリンダーにはまった ら、カムチェーンをシリンダーに通 をクランクケースに はめ込みます



◇カムチェーンガイドの先端をクラン クケースの溝に、突起部をシリン ダーの溝に合わすようにして差し込 みます。



シリンダーヘッドの取り付け ◇シリンダーとシリンダーヘッドの 一等で脱脂します。





◇ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けま



シリンダ-· ヘッドガスケット

◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



◇アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り 付けます。



◇ロックボルトでセットプレートを仮止 めします。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを仮 止めしておきます。



カムシャフトとカムスプロケット の取り付け

◇キットのカムシャフトのジャーナル面 とカム面にエンジンオイルを塗布し、 シリンダーヘッドに取り付けます。カ ムシャフトのカム山は下側に向けてお きます。



◇ノックピン2個を取り付けます。



◇カムシャフトホルダーを取り付けます。



◇ワッシャ4個を取り付けます。



◇ナット4個を対角に数回に分けて均等 に締め付けます。

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 トルク: 20N・m (2.0kgf・m) CB50



◇仮止めしていたシリンダーヘッドマウ ントボルトを本締めします。 シリンダーヘッドマウントとカムシャ フトの間にカムチェーンを噛み込まな い様、注意して下さい。

♪ 注意:必ず規定トルクを守る事。 シリンダーヘッドマウントボルト トルク:12N・m (1.2kgf・m)



◇フライホイールの"T"マークがクランクケースの"▽"マークに合っているか確認します。



◇カムスプロケットの"O"マークが スイス・イン・イン・ リ上を向くようにカムチェーンを取 り付けます。カムスプロケットをカ ムシャフトにはめ込みます。



◇フライホイールを少し回して、カム スプロケットを回し、6 角ボルトを 取り付けやすくします。

◇カムシャフトのボルト穴をカムスプ ロケットに合わせて6角ボルト2本 を手で締め込み、仮り止めします。 この時、ノックボルト (黒色ボルト) をインテーク側に取り付けて下さ





◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本を締め付 けます。

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 6 角ボルト トルク:12N·m (1.2kgf·m)



# カムチェーンの調整

※カムチェーンは張りすぎてもたるみ があってもエンジンの調子を損ない ます。確実に作業を行って下さい。

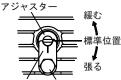
◇フライホイールを反時計方向にまわ カムシャフトの両方のカム山が 上になる位置にします。

カム山を上にします



フライホイールを手で少し動かし カムスプロケットとのガタをみなが ら、アジャスターの"O"マークを 張る方向や緩む方向に回してみま





\_ロックボルト セットプレート

◇ガタが無く、フライホイールが重く ならないところでロックボルトを締 め込み、アジャスターを固定します。

# ⚠ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ロックボルト トルク:10N・m (1.0kgf・m)



-の調整だけではガタが 無くならない場合、シリンダーのア ジャストボルトでも調整を行います。 ◇アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットを緩め、アジャストボルトを

少しだけ緩めます。





#### ↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ロックナット トルク: 12N・m (1.2kgf・m)

◇再びアジャスターを回して、ガタが 無く、フライホイールが重くならな いところを探し、ロックボルトでア ジャスターを固定します。

# バルブ隙間の調整

◇フライホイールを反時計方向に回して、カムスプロケットの"O"マークが真上を向き、フライホイールの"T"マークがクランクケースの"▽"マー

クに合う位置で止めます。 ◇アジャストスクリューとバルブ端面の 間(バルブ隙間)に 0.1mm のシックネ スゲージを差し込みます。



◇引き抜くときに少し抵抗があるぐら いにアジャストスクリューを合わせ、 ナットを締め付けます。

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。

: 10N • m (1. 0kgf • m)



◇ナットを締め付け後、0.1mm のシック -ジを再度差し込み、バルブ隙 間を確認します。

◇シリンダーヘッドのオイル溜りにきれ ン・ファイン いなエンジンオイルをいっぱいまで入 れます。



◇シリンダーヘッドカバーとガスケット をシリンダーヘッドカバーボルト2本 でシリンダーヘッドに取り付けます。

⚠ 注意:必ず規定トルクを守る事。 シリンダーヘッドカバーボルト トルク:12N・m (1.2kgf・m)



◇付属のシリンダーのボス部2箇所に、 オイルプラグボルト/シーリングワッ コールンフィバルド/ンーリンソリッシャを取り付けます。オイルプラグボルトM5 穴付きは、エンジン取り付け時に下側になるよう取り付けます。オイルクーラーキットを取り付ける場合

※オイルク は、そのキットの取扱説明書に従う事

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 オイルプラグボルト トルク: 12N・m (1.2kgf・m)



# ●エンジンの取り付け エンジンの取り付け

◇エンジン下部にジャッキや適当な台等 を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。

◇リアエンジンマウントの下側にボルト を左側から差し込みます。(CB50の場合は右側から差し込みます。)



カラー(Ape の場合)とクラッチケー ブルガイドを取り付け、リアエンジン マウントの上側にボルトを左側から差 し込みます。





◇ナット2個を仮止めします。





◇フロントエンジン ノハンガーを取り付 け、ボルト4本を左側から差し込み、 ット4個を仮止めします。



◇ドライブチェーンを取り付けたドラ イブスプロケットを、カウンター シャフトに差し込みます。差し込み にくい場合は、エンジンを軽く揺す りながら差し込んで下さい。



◇ドライブチェーンに適度なたるみを 持たせたまま、仮り止めしたリアエ ンジンマウントのナット 2 個と、 ロントエンジンハンガープレー ナット4個を本締めします。

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 アエンジンマウントナット トルク:44N・m(4.5kgf・m)

フロントエンジンハンガ-プレートナット トルク: 26N・m (2.7kgf・m)

◇フィキシングプレートをカウンター シャフトに差し、ドライブスプロ ケットのボルト穴に合わせて、ボル ト2本を取り付けます。

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ボルト トルク:10N・m (1.0kgf・m)



#### ● L. クランクケースカバーの 取り付け

◇L. クランクケースカバーとクラン クケースの取り付け面をシンナー等

で脱脂します。 ◇スペーサーを取り付け、L クケースカバーと新品のガスケット をボルト5本でクランクケースに取 り付けます

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ボルト

トルク : 12N • m (1. 2kgf • m)





# L. ステップの取り付け

# Ape の場合

◇L. ステップをボルト2本でフレー ムに取り付けます。

🛕 注意:必ず規定トルクを守る事。 ボルト

トルク: 26N・m (2.7kgf・m)



◇サイドスタンドスイッチコードを レームのクランプに取り付けます -ドをフ



接続 ◇配線の接続を行います。



◇ワイヤーバンドでコードをフレーム に固定します。



◇ブリーザーホースを接続します。 (Ape の場合)



# ◇リフターレバーにクラッチケーブルを 取り付け、クラッチケーブルガイドに 取り付けてナットを締め付けます。



- ターギアにケーブルのイン ナーの切り欠きを合わせて差し込み、 スクリューでタコメーターケーブルを 固定します。



# スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグを、まず手で締め込み ます。 ◇スパークプラグレンチを用いて締め付

けます。

⚠ 注意:必ず規定トルクを守る事。 スパークプラグ トルク: 14N・m (1.4kgf・m)



◇プラグキャップを取り付けます。



# エキゾーストマフラーの取り付け ◇シリンダーヘッド側のナット2個を仮

止めします。 ※ CB50 ノーマルマフラーはレーシング スタンド使用時に取り付け出来ませ

ん。 サイドスタンドで車両を支えてから 取り付けて下さい。 ※ノーマルマフラーはステップとエンジ ンの間から差し込んで下さい。



Ape

◇マウントボルトを仮止めします。



◇仮止めした3ヶ所を本締めします。

♪ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ナット2個

トルク: 12N・m (1.2kgf・m)

マウントボルト

トルク: 13N・m (1.3kgf・m)

#### **CB50**

◇ワッシャ、マフラーブラケット、ワッ シャの順にピボットボルトに取り付 け、ロックナットを仮止めします。



◇仮止めした3ヶ所を本締めします。

# ⚠ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ナット2個

トルク: 12N・m (1.2kgf・m)

ロックナット

トルク: 34N・m (3.5kgf・m)

◇キックペダルをシャフトに差し込み、 ボルトで取り付けます。

↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ボルト

トルク: 12N・m (1.2kgf・m)

# キャブレターの取り付け

#### Ape

※当製品はノーマルキャブレターでは 性能を発揮しません。別売りのキャ ブレターキットをお買い求め下さ

※取り付けは、キャブレターキットの 説明書を参照して下さい。

◇コネクティングチューブにキャブ レターを差し込み、シリンダーヘッ ドにマニホールドをボルト2本で 取り付けます。

#### ↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ボルト

トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



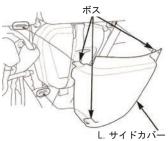
〜コネクティングチューブバンドの スクリューを締め付けます。



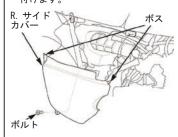
◇スロットルバルブの切り欠き部を スロットルストップスクリューに 合わせて差し込み、トップキャップ を取り付けます。

# ●サイドカバーの取り付け

◇左サイドカバーのボス3ヶ所を フレームに差し込み、取り付けます。



◇右サイドカバーのボス2ヶ所を -ムに差し込み、ボルトを取り 付けます。



◇ CB50 は左右のサイドカバー、各3ヶ 所をフレームに差し込み、取り付け



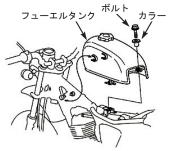
# シートとタンクの取り付け

#### Ape の場合

◇フューエルタンクをフレームに取り 付け、ボルトを締め付けます。

# ↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ボルト

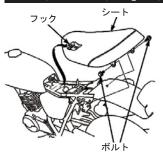
トルク:26N・m (2.7kgf・m)



ト裏面の前部のフックをフレ ムに差し込み、2本のボルトでフレー ムに取り付けます

# ↑ 注意:必ず規定トルクを守る事。 ボルト

トルク: 26N・m (2.7kgf・m)



# ●フューエルホースの接続

◇フューエルコックにフューエル チューブを接続し、チューブクリッ プで固定します。





# CB50 へ組み込まれる方へ

経年変化に伴い、各部の摩耗、へたり、 損傷が考えられます。

特に、シール部、ベアリング部、ジャー ナル部等の点検を行い、必要ならば 修理・部品交換を行って下さい。

#### ●ポイント点火について

※点火時期がずれていると本来の性能を 発揮しない上に故障につながる恐れが あります

点火時期およびポイント隙間の点検を 行って下さい。ご自分で出来ない場合 は、技術的信用のある専門店へご依頼 されることをお勧めします

#### ★点火時期の点検

- ◇タイミングライトを使い、アイドリング(1500rpm)時にフライホイールの "F"マークとクランクケースの"▽" マークが合っているか確認します。
- ◇合っていない場合はポイント隙間の 点検を行って下さい。

# ★ポイント隙間の点検

- ◇ポイントの荒れ、偏摩耗、汚れがあれ ばコンタクトブレーカーは交換して下
- ◇フライホイールを反時計方向に回し、 ポイントが一番開くところに合わせま
- す。 ◇シックネスゲージでポイント隙間を 測ります。 ポイント隙間規定値:0.3~0.4mm
- ◇規定値外の場合はポイント隙間の調整 を行います。

# ★ポイント隙間の調整

- ◇調整はブレーカー締め付けネジを緩め、コンタクトブレーカーをマイナスドライバー等で動かして行います。
- ◇規定値内になるように調整し、再度 タイミングライトを使って点火時期の 点検を行って下さい
- ◇ポイント隙間と点火時期が合わない 場合、コンタクトブレーカーを交換

# ●走行前の注意

#### ①お願い

◇このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
 ◇一般公道を走行される場合は小型 2 輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付 2 種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
 ◇キット内の原付 2 種マークをお貼り下さい。

#### ②使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソ リンと入れ替えて下さい。

#### ③スプロケットの変更

- ※このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギアー化を行って下さい。

  ◇ Ape S ステージ仕様の参考 2 次減速比は 2.5 となっております。
- Appe S ステーン仕様の参考 2 次減速比ば 2.5 となっております。 (体重 65kg 時) 2 次減速比は、"ドリブン(リアタイヤ側)スプロケットの歯数・ドライブ (エンジン側)スプロケットの歯数"で算出します。 例えば、35 丁 (ドリブンスプロケット)÷14 丁 (ノーマルドライブスプロケット) 2.5 (2 次減速比)となります。
- ◇ CB50 S ステージ仕様の参考 2 次減速比は、約 2.9 となっております。
- 例えば、35 T (ドリブンスプロケット)  $\div$  12 T (ノーマルドライブスプロケット)  $\div$  2.9 (2 次減速比) となります。

#### ●その他

#### ①温度計

◇このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り 付け出来ます。又、オイルプラグボルト部には M5 タイプの温度センサーが取り 付け出来ます。

# ②オイルクーラー (Ape のみ)

◇このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。 エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキットの装着を お勧めします。

(オイルクーラー取り付けの際は、オイルプラグボルトの M5 タイプ温度センサー は取り付け出来なくなります。)